

沼津市立病院広報誌

numa<sup>p</sup>ital

# ぬまピタル

vol.37  
Apr.2026

見開き  
特集

目内視鏡手術と水中手術の融合と進化



進化した医療が  
あなたの聞こえを守る

# 耳内視鏡手術と水中手術の融合と進化

## 耳鼻いんこう科部長 佐々木 豊

### Profile 佐々木 豊

高知医科大学医学部(大学院)を卒業後、浜松医科大学附属病院に勤務。各医療機関での勤務を経て、1997年より当院勤務。

沼津の好きなおところ：富士山が見えること、お魚がおいしいこと

趣味：ダイビング、バスケットボール

資格：日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本頭頸部外科学会暫定指定医



精密手術で挑む、耳鼻咽喉医療のスペシャリスト  
災害時はDMAT(災害派遣医療チーム)隊員として、命の現場へ

今回は、耳鼻いんこう科部長の佐々木医師に、耳内視鏡手術と水中手術の流れや患者さんにとってのメリットについて、お話を伺いました。

Q. 耳の手術は、どのように進化していますか？

A. 以前は、耳の奥の病気を治すためには、耳の後ろを大きく切る必要がありました。今は、細い内視鏡を使って、耳の穴から手術できるようになりました。この術式を「経外耳道的内視鏡下耳科手術」といいます。体への負担が少なく、傷も目立ちにくいことが特徴です。当院では、内視鏡手術に加えて、水を使った新しい手術の方法も取り入れています。

Q. 水を使った手術とは何ですか？

A. 耳のなかで骨を削ったり、病気の部分を取り除いたりすると、細かいかけらが出てきて、見えにくくなります。そこで、耳のなかに生理食塩水を流しながら、視界をクリアに保つ術式が「水中手術」です。



Q. 水を使うと患者さんにとってどのようなメリットがあるのでしょうか？

A. 水で冷やすことで熱によるダメージを防ぐことができますし、病気の膜をやさしく剥がすことができますので、安全性が高まります。また、視界が良くなることで、手術がスムーズに進み、手術時間の短縮や早期の回復が期待できます。

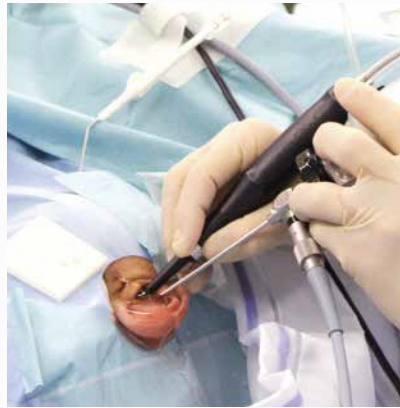
Q. 生理食塩水を流しながらの手術とは、どのように行うのですか？

A. 以前は、専用の器具がなかったため、点滴用の針など院内にある器具を使って、水を流す工夫をしていました。耳の前から細い針を刺して、そこから耳のなかに水を流し、あふれた水を専用の袋で受けることで、手術室を水浸しにすることなく、安全に手術を行ってききました。

そのような中、水中手術に対応した専用の医療機器を令和7年11月に導入しました。この医療機器は、

水の流れを細かく調整できるので、耳のなかの視界が常にクリアに保たれ、病気の部分を、より丁寧に、より安全に取り除くことができます。ようになりました。

また、この機器は、超音波の細かい振動で骨をやさしく削ることができるので、体への負担が少なくてすみます。



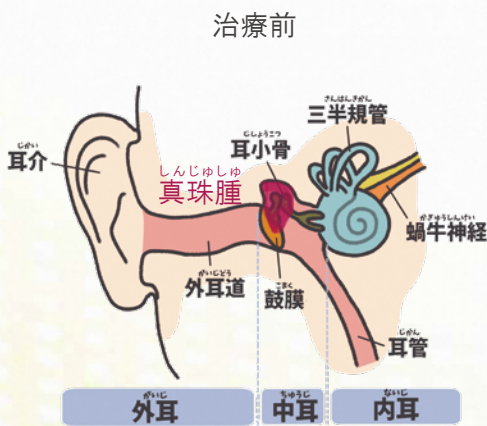
Q. どのような病気に、この手術が使われるのですか？

A. 代表的なものは、「真珠腫」という病気です。耳の奥にできる腫瘍のようなもので、放っておくと聞こえにくくなったり、めまいが起きたりすることがあります。手

術をすることで、病気の部分を丁寧に取り除き、再発のリスクも減らすことができます。

Q. 手術を受けたあと、どのような変化がありますか？

A. 耳の病気によっては、聞こえづらさなど、日常生活に支障が出る場合があります。手術をして、病気の原因を取り除くことで、改善する可能性があります。また、聞こえが安定することによって、会話がしやすくなりますので、仕事や外出などへの不安を減らすこともできます。治療は、生活の質を取り戻すための大切な一歩です。



Q. 読者にメッセージをお願いします。

A. 耳の手術と聞くと、不安に感じる方もいらっしゃると思います。しかし、今の手術は、以前と比べて進化しているので、体にやさしく、安全に行う方法が増えていきます。水を使った内視鏡手術もそのひとつです。

不安な気持ちは、我慢しなくて大丈夫です。治療や手術に対して、心配したり、戸惑いを感じたりするのは当然です。私たちは、そうしたお気持ちを受け止めながら、一つひとつ丁寧に説明し、ご納得いただいて治療を進めるよう心がけています。患者さんの力になれるよう、そばで支えながら、一緒に乗り越えていきたいと思っています。



## INFORMATION

### 外来受付時間変更のお知らせ

令和8年4月1日(水曜日)から  
受付開始時刻が、午前8時になります。

受付時間は、  
午前8時～正午(12時)です。

ご理解・ご協力をお願いします。



## STAFF 紹介

### 患者さんの聞こえを守る 耳鼻いんこう科チーム



## PICK UP

### 健康診断だけではわからない！聴力検査の役割

健康診断で行う聴力検査は、聞こえに問題がある可能性を調べる簡易的な検査です。  
一方、医療機関で行う聴力検査では、難聴の種類や程度を詳しく調べることができます。



難聴は早めの対応が大切です。健康診断で異常を指摘された場合や、聞こえに不安がある場合は、耳鼻いんこう科での精密検査をおすすめします。当院では、専門の検査技師がわかりやすく説明し、安心して検査を受けていただけるよう努めています。

## PICK UP

### 花粉症の点鼻薬、正しく使えていますか？

今回は、花粉症でよく使われる点鼻薬について紹介します。

#### ■花粉症薬の主役は“ステロイド点鼻薬”

花粉症の治療では、炎症を抑えるステロイド点鼻薬が最もよく使われます。速効性は弱いものの、毎日続けることで効果が安定します。花粉が飛び始める前から使うと、より症状を抑えやすくなります。

#### ■効果を高める正しい使い方

- ① 鼻を軽くかむ
  - ② ノズルは鼻の外側(目の方向)へ
  - ③ 頭を少し前に傾げる(上を向かない)
  - ④ 軽く息を吸いながら噴霧
  - ⑤ 使用後すぐ鼻をかまない
- ※正しい使い方では効果がぐっと上がります。



#### ■注意点

1週間使っても改善しない場合や、痛み・出血がある場合は、使用を中止し、医師・薬剤師に相談してください。

— 市民のために 共に歩む病院 —



NUMAZU CITY HOSPITAL

[初めて受診される方へ]

原則、医療機関からの予約と紹介状が必要です。紹介状をお持ちでない場合、特別初診料がかかります。詳しくはコチラ→



沼津市立病院広報誌「ぬまピタル」

発行：広報委員会・病院管理課

沼津市東椎路字春ノ木 550 番地

055-924-5100

byoin-so@city.numazu.lg.jp

<https://www.numazu-hospital.shizuoka.jp>

バックナンバー

